

健康

質問 60歳の妻が大腸がんと診断され、抗がん剤治療を行うことになりました。薬の説明書に、手足症候群との副作用が書いてありました。どんな副作用で、対処方法はどのようなものですか。



柴田 高洋 徳島大学病院 がん専門薬剤師

手足症候群

回答 手足症候群は、手や足など四肢の末端において皮膚の細胞がダメージを受けて起きる皮膚症状の副作用です。チクチクする知覚過敏があり、発赤、色素沈着、腫脹なども見られます。

直接生命にかかわる副作用ではありません。それでも重篤化すると、物がつかめなくなったり、歩行が困難になったりするくらい痛みが起きて、日常生活に大きな支障が出ます。原因になる薬剤は、フッ化ピリミジン系の抗がん剤（フルオロウシシル、カベシタピンなど）やマルチキナーゼ阻害薬（レゴラフェニブなど）です。詳しいメカニズムは明らかになっていないものの、発症時期は、マルチ

知覚過敏 生活に支障も



湿です。乾燥は皮膚の細胞の成長に乱れを起こし、摩擦などの物理的な刺激が加わると、症状がより悪化することが知られています。

がん何でもクイズ コロナ禍で〇〇〇〇が増加し、がん検診受診者数が減少。〇〇〇〇には何が入るか。 ①受診嫌い ②受診控え ③在宅勤務 行こうよ！がん検診

キナーゼ阻害薬が投与開始から1、2週間。フッ化ピリミジン系の抗がん剤が2カ月前後とされています。手足症候群に対する確立された治療方法はなく、症状を悪化させないことが大切です。最も重要な予防策が保

足と手を保護するためのイラストと説明。足には木綿の厚めの靴下を履き、しめつけの強い靴下は避ける。足に合ったやわらかい靴を選ぶ。手には木綿の手袋をつける。水を使うときは保湿剤を塗り、木綿の手袋の上にゴム手袋をする。

保湿剤活用 刺激避けて

保湿剤を塗りましょう。それでも痛みを伴うなど症状が悪化してきた場合には、ステロイド外用剤を使用したり、減量、休業したりすることで、副作用を軽減することができます。皮膚障害が重篤化すると治りにくくなります。無理をせず早めに医療スタッフに相談してください。

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は 徳島がん対策センター 電話 088 (634) 6442 (平日午前8時半から午後5時まで)へ。 QRコード